

川崎市建築物環境配慮制度受付番号 14096

建築物名称	(仮称)中原区上小田中計画新築工事
建築主	野村不動産株式会社 住宅事業本部 事業推進二部長 榊原 洋
建築物の所在地	川崎市中原区上小田中7丁目17
設計者氏名、建築士事務所名	松澤 明彦 株式会社長谷エコーポレーション 一級建築士事務所
工事種別	新築
床面積の合計	7,766.33m ²
用途	共同住宅
構造	鉄筋コンクリート造
階数	地上7階
工事完了年月	平成28年12月
自然エネルギーの利用 (利用を検討した自然エネルギーの種類)	太陽光発電、太陽熱利用、燃料系潜熱回収瞬間式給湯器
自然エネルギーの利用 (利用を決めた自然エネルギーの種類)	燃料系潜熱回収瞬間式給湯器

1-1 建物概要

建物名称	(仮称)中原区上小田中計画 新築工事
建設地	川崎市中原区上小田中7丁目17
用途地域	第一種住居地域
気候区分	地域区分Ⅳ
建物用途	集合住宅
竣工年	2016年12月 予定
敷地面積	3,657 m ²
建築面積	1,563 m ²
延床面積	7,766 m ²

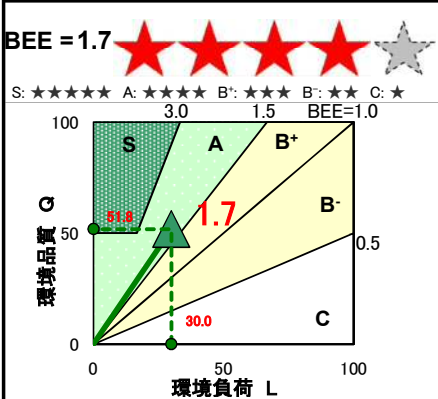
階数	地上7F
構造	RC造
平均居住人員	267 人
年間使用時間	8,760 時間/年
評価の段階	実施設計段階評価
評価の実施日	2015年5月15日
作成者	阿久根 渉
確認日	2015年5月20日
確認者	阿久根 渉

1-2 外観

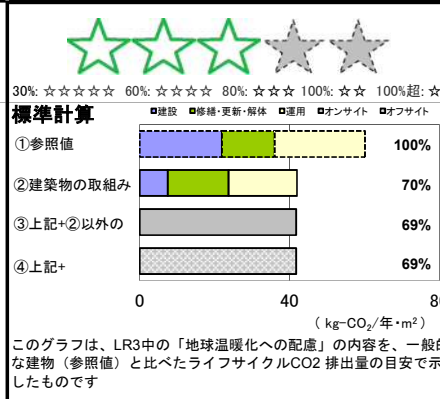
14096



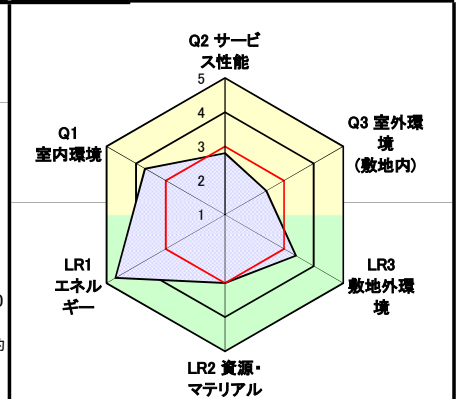
2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)



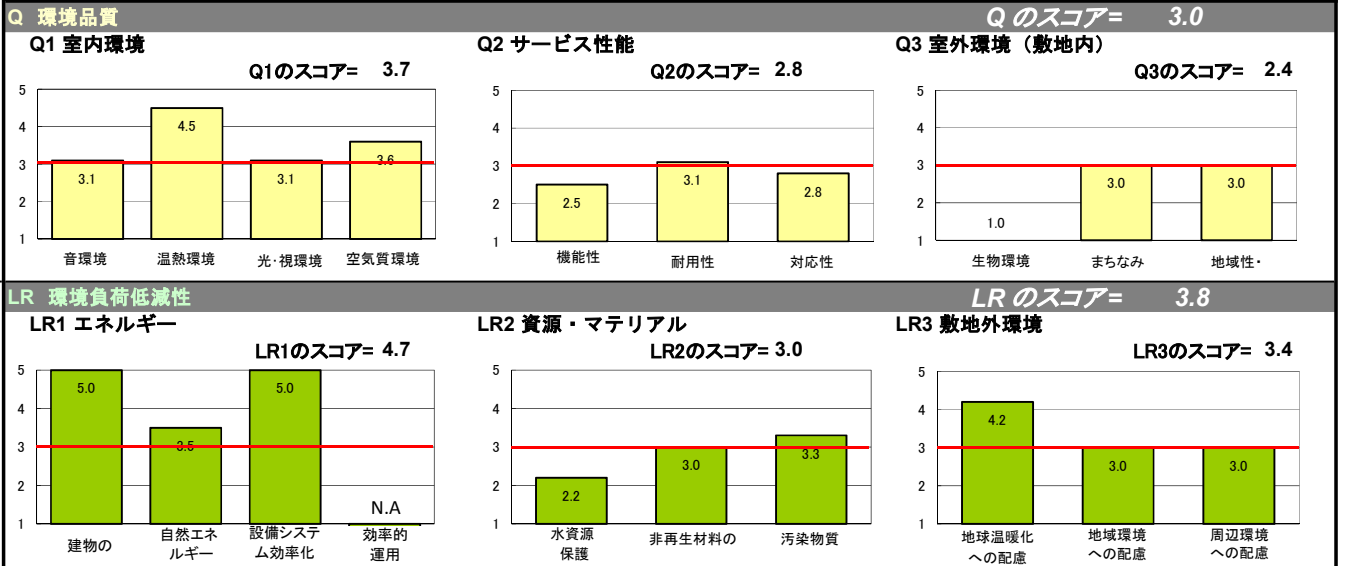
2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)



2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)



2-4 中項目の評価 (バーチャート)



CASBEE-川崎2011 (v.1.2)

(仮称)中原区上小田中計画 新築工事

14096

重点項目についての環境配慮概要		実績重点項目スコア 合計/ 重点項目最高点のスコア合計	重点項目への 貢献点注) (5点満点)
内訳対応項目	各項目について配慮した内容を記述してください。		
緑の保全・回復(G)		Gの平均点	2.7
Q-3 ■ 室外環境(敷地内)対策 1 生物資源の保全と創出 2 まちなみ・景観への配慮 3 3.2 敷地内温熱環境の向上	川崎市緑化指針に適合している 川崎市景観計画に沿った色彩としている 空地率は50%以上とし、風の通り道を確保	2.0/4.3	2.3
LR-3 ■ 敷地外環境対策 2 2.2 温熱環境悪化の改善		0.5/0.8	3.0
地球温暖化防止対策の推進(W)		Wの平均点	3.3
Q-1 ■ 室内環境対策 2 2.1 2.1.3 外皮性能 3 3.1 3.1.3 屋光利用設備 3.2 3.2.2 屋光制御	省エネルギー等級4取得 バルコニー及び、カーテンレールの設置	5.8/6.9	4.2
Q-3 ■ 室外環境(敷地内)対策 1 生物資源の保全と創出 3 3.2 敷地内温熱環境の向上	川崎市緑化指針に適合している 空地率は50%以上とし、風の通り道を確保	0.8/2.3	1.7
LR-1 ■ エネルギー対策 1 建物の熱負荷抑制 2 自然エネルギー利用 3 設備システムの高効率化 4 効率的運用	省エネルギー等級4取得 潜熱回収式給湯器(エコジョーズ)を採用	4.7/5.0	4.7
LR-2 ■ 資源・マテリアル対策 1 水資源保護 2 非再生性資源の使用量削減 3 フロン・ハロンの回避	躯体と仕上げ材が容易に分別可能となっている	2.7/4.6	2.9
LR-3 ■ 敷地外環境対策 2 2.2 温熱環境悪化の改善		0.5/0.8	3.0
資源の有効利用による循環型地域社会の形成(R)		Rの平均点	3.1
Q-2 ■ サービス性能対策 2 2.2 部品・部材の耐用年数	空調・給排水配管の主要3種のうち2種以上がC以上	0.4/0.5	3.4
LR-2 ■ 資源・マテリアル対策 1 水資源保護 2 非再生性資源の使用量削減	躯体と仕上げ材が容易に分別可能となっている	2.2/3.9	2.8
LR-3 ■ 敷地外環境対策 2 2.3 地域インフラへの負荷抑制	雨水貯留槽にて、雨水流出抑制を行う計画としている	0.3/0.4	3.3
ヒートアイランド現象の緩和(H)		Hの平均点	3.1
Q-3 ■ 室外環境(敷地内)対策 1 生物資源の保全と創出 3 3.2 敷地内温熱環境の向上	川崎市緑化指針に適合している 空地率は50%以上とし、風の通り道を確保	0.8/2.3	1.7
LR-1 ■ エネルギー対策 1 建物の熱負荷抑制 2 自然エネルギー利用 3 設備システムの高効率化 4 効率的運用	省エネルギー等級4取得 潜熱回収式給湯器(エコジョーズ)を採用	4.7/5.0	4.7
LR-3 ■ 敷地外環境対策 2 2.2 温熱環境悪化の改善		0.5/0.8	3.0

注)重点項目に該当する評価項目の得点(重み係数付)を集計し、当該項目の最高点の合計に対する貢献度を示した点数。

重点項目への貢献点の平均点 **3.1**

ライフサイクルCO2評価対象項目についての環境配慮概要		実績スコア合計/ 最高点のスコア合計	ライフサイクル CO2評価対象 項目への 貢献点注) (5点満点)
内訳対応項目	各項目について配慮した内容を記述してください。		
建設段階			
Q-2 ■ サービス性能対策 2 2.2 2.2.1 躯体材料の耐用年数	構造躯体劣化等級対策等級3を取得	0.1/0.1	5.0
修繕・更新・解体段階			
LR-2 ■ 資源・マテリアル対策 2 2.2 既存建築躯体等の再利用 2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		0.9/1.5	3.0
運用時のエネルギー			
LR-1 ■ エネルギー対策 1 建物の熱負荷抑制 2 自然エネルギー利用 3 設備システムの高効率化 4 効率的運用	省エネルギー等級4取得 潜熱回収式給湯器(エコジョーズ)を採用	4.7/5.0	4.7

注)ライフサイクルCO2評価対象項目に該当する評価項目の得点(重み係数付)を集計し、当該項目の最高点の合計に対する貢献度を示した点数。

CASBEF-川崎2011年版						欄に数値またはコメントを記入				14096
スコアシート		実施設計段階								
配慮項目	G	W	R	H	環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
						評価点	重み係数	評価点	重み係数	
Q 建築物の環境品質										3.0
Q1 室内環境							0.40			3.7
1 音環境						3.0	0.15	3.1	1.00	3.1
1.1 騒音						3.0	0.50	3.0	0.50	
1 室内騒音レベル						3.0	1.00	3.0	0.50	
1.2 遮音					Dr-50を確保する計画とした	3.0	0.50	3.3	0.50	
1 開口部遮音性能						3.0	1.00	3.0	0.30	
2 界壁遮音性能								4.0	0.30	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)								3.0	0.20	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)								3.0	0.20	
1.3 吸音										
2 温熱環境						2.2	0.35	5.0	1.00	4.5
2.1 室温制御						2.2	0.50	5.0	1.00	
1 室温						3.0	0.63	-	-	
3 外皮性能		W			省エネ対策等級4を取得	1.0	0.38	5.0	1.00	
4 ゾーン別制御性										
2.2 湿度制御						1.0	0.20	-	-	
2.3 空調方式						3.0	0.30	-	-	
3 光・視環境						1.2	0.25	3.5	1.00	3.1
3.1 屋光利用						1.8	0.30	4.0	0.50	
1 屋光率					(住居)2.0%以上	1.0	0.60	5.0	0.50	
2 方位別開口								3.0	0.30	
3 屋光利用設備		W				3.0	0.40	3.0	0.20	
3.2 グレア対策						1.0	0.30	3.0	0.50	
2 屋光制御		W				1.0	1.00	3.0	1.00	
3.3 照度						1.0	0.15	-	-	
3.4 照明制御						1.0	0.25	-	-	
4 空気質環境						3.6	0.25	3.6	1.00	3.6
4.1 発生源対策						4.0	0.60	4.0	0.63	
1 化学汚染物質					F☆☆☆☆を全面使用	4.0	1.00	4.0	1.00	
4.2 換気						3.0	0.40	3.0	0.38	
1 換気量						3.0	0.50	3.0	0.33	
2 自然換気性能								3.0	0.33	
3 取り入れ外気への配慮						3.0	0.50	3.0	0.33	
4.3 運用管理										
1 CO ₂ の監視										
2 喫煙の制御										

Q2 サービス性能				-	0.30	-	-	2.8
1 機能性				2.4	0.40	2.6	1.00	2.5
1.1 機能性・使いやすさ				3.0	0.40	3.0	0.60	
1	広さ・収納性				-		-	
2	高度情報通信設備対応				-	3.0	1.00	
3	バリアフリー計画			3.0	1.00		-	
1.2 心理性・快適性				1.0	0.30	2.0	0.40	
1	広さ感・景観				-	3.0	0.50	
2	リフレッシュスペース				-		-	
3	内装計画			1.0	1.00	1.0	0.50	
1.3 維持管理				3.0	0.30		-	
1	維持管理に配慮した設計			3.0	0.50		-	
2	維持管理用機能の確保			3.0	0.50		-	
2 耐用性・信頼性				3.1	0.31		-	3.1
2.1 耐震・免震				3.0	0.48		-	
1	耐震性			3.0	0.80		-	
2	免震・制振性能			3.0	0.20		-	
2.2 部品・部材の耐用年数				3.4	0.33		-	
1	躯体材料の耐用年数	R	構造躯体劣化対策等級3を取得	5.0	0.23		-	
2	外壁仕上げ材の補修必要間隔	R		2.0	0.23		-	
3	主要内装仕上げ材の更新必要間隔	R	天井:ビニルクロス貼=30年 壁:ビニルクロス貼=20年 床:シートフローリング=20年	4.0	0.09		-	
4	空調換気ダクトの更新必要間隔	R		3.0	0.08		-	
5	空調・給排水配管の更新必要間隔	R	主要な用途上位3種の、2種以上にC以上を採用	4.0	0.15		-	
6	主要設備機器の更新必要間隔	R		3.0	0.23		-	
2.4 信頼性				2.8	0.19		-	
1	空調・換気設備			3.0	0.20		-	
2	給排水・衛生設備			1.0	0.20		-	
3	電気設備			3.0	0.20		-	
4	機械・配管支持方法			3.0	0.20		-	
5	通信・情報設備		インターネット用にCat5E-4P、電話用にメタルケーブルを装着している。	4.0	0.20		-	
3 対応性・更新性				3.0	0.29	2.8	1.00	2.8
3.1 空間のゆとり					-	2.6	0.50	
1	階高のゆとり				-	3.0	0.60	
2	空間の形状・自由さ				-	2.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり					-	3.0	0.50	
3.3 設備の更新性				3.0	1.00		-	
1	空調配管の更新性			3.0	0.17		-	
2	給排水管の更新性			3.0	0.17		-	
3	電気配線の更新性			3.0	0.11		-	
4	通信配線の更新性			3.0	0.11		-	
5	設備機器の更新性			3.0	0.22		-	
6	バックアップスペース			3.0	0.22		-	
Q3 室外環境(敷地内)				-	0.30	-	-	2.4
1 生物環境の保全と創出				1.0	0.30		-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮				3.0	0.40		-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮				3.0	0.30		-	3.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上				3.0	0.50		-	
3.2 敷地内温熱環境の向上				3.0	0.50		-	

LR 建築物の環境負荷低減性									3.8
LR1 エネルギー									4.7
1 建物の熱負荷抑制				W	H	省エネ対策等級4を取得	5.0	0.40	5.0
2 自然エネルギー利用							3.5	0.20	3.5
2.1 自然エネルギーの直接利用				W	H		3.0	0.50	
2.2 自然エネルギーの変換利用				W	H	太陽光パネルを屋上に設置	4.0	0.50	
3 設備システムの高効率化				W	H	潜熱回収型給湯器エコジョーズを採用	5.0	0.40	5.0
集合住宅以外の評価 (ERRIによる評価)									
集合住宅の評価							5.0		
4 効率的運用									
4.1 モニタリング				W	H				
4.2 運用管理体制				W	H				
LR2 資源・マテリアル									3.0
1 水資源保護				W	R		2.2	0.15	2.2
1.1 節水							1.0	0.40	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用							3.0	0.60	
1 雨水利用システム導入の有無							3.0	1.00	
2 雑排水等利用システム導入の有無									
2 非再生性資源の使用量削減							3.0	0.63	3.0
2.1 材料使用量の削減				W	R		3.0	0.07	
2.2 既存建築躯体等の継続使用				W	R		3.0	0.25	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用				W	R	-	3.0	0.21	
2.4 非構造材料におけるリサイクル材の使用				W	R	-	1.0	0.21	
2.5 持続可能な森林から産出された木材				W	R		-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み				W	R	躯体と仕上げ材が容易に分別可能となっている	5.0	0.25	
3 汚染物質含有材料の使用回避							3.3	0.22	3.3
3.1 有害物質を含まない材料の使用						指定化学物質を含有しない壁紙用接着剤を使用	4.0	0.32	
3.2 フロン・ハロンの回避							3.0	0.68	
1 消火剤				W			-	-	
2 発泡剤(断熱材等)				W			3.0	0.50	
3 冷媒				W			3.0	0.50	
LR3 敷地外環境									3.4
1 地球温暖化への配慮				W		省エネ対策等級4を取得。 潜熱回収型給湯器エコジョーズの採用	4.2	0.33	4.2
2 地域環境への配慮							3.0	0.33	3.0
2.1 大気汚染防止							3.0	0.25	
2.2 温熱環境悪化の改善				G	W	H	3.0	0.50	
2.3 地域インフラへの負荷抑制							3.0	0.25	
1 雨水排水負荷低減					R		3.0	0.25	
2 汚水処理負荷抑制					R		3.0	0.25	
3 交通負荷抑制					R		3.0	0.25	
4 廃棄物処理負荷抑制					R		3.0	0.25	
3 周辺環境への配慮							3.0	0.33	3.0
3.1 騒音・振動・悪臭の防止							3.0	0.40	
1 騒音							3.0	1.00	
2 振動							-	-	
3 悪臭							-	-	
3.2 風害・砂塵、日照障害の抑制							3.0	0.40	
1 風害の抑制							3.0	0.70	
2 砂塵の抑制									
3 日照障害の抑制							3.0	0.30	
3.3 光害の抑制							3.0	0.20	
1 屋外照明及び屋内照明のつらみに漏れる光への対策							3.0	0.70	
2 屋外の建物外壁による反射光(グレア)への対策							3.0	0.30	

14096

(仮称)中原区上小田中計画新築工事

このマンションは分譲住宅環境性能表示の届出を行っています。

建築主は分譲共同住宅環境性能表示を販売広告に掲載した日から15日以内に届け出る
ことになっており、これにより公表しています。



この表示は川崎市の定めた基準に従って、建築主が自らの計画を評価した内容に
基づいています。